

# 平成23年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	新潟県		市町村類型	- 1	指定団体等の指定状況		区分	平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分	平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)
					財政健全化等	×						
市町村名	三条市		地方交付税種地	1-4	財源超過	×	繰入総額	59,686,077	53,363,771	実質収支比率	0.9	7.0
					首都	×	繰出総額	57,199,433	51,153,373	経常収支比率	93.1	90.7
					近畿	×	繰入歳出差引	2,486,644	2,210,398	( 1 )	( 101.2 )	( 100.7 )
					中部	×	翌年度に繰越すべき財源	2,280,115	502,628	標準財政規模	23,777,091	24,284,020
人口	22年国調(人)	102,292	産業構造 ( 5 )		過疎	×	実質収支	206,529	1,707,770	財政力指数	0.63	0.65
	17年国調(人)	104,749			低開発	×	単年度収支	-1,501,241	1,355,877	公債費負担比率	16.6	16.9
	増減率 (%)	-2.3			過疎	×	積立金	2,630	31,049	健全化判断比率	-	-
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	103,314	第1次	22年国調	2,135	2,949	山振	-	-	実質赤字比率	-	-
	23.03.31(人)	104,135		17年国調	4.3	5.4	低開発	1,981,049	1,132	連結実質赤字比率	-	-
	増減率 (%)	-0.8	第2次	指数表選定	×	×	積立金取崩し額	-3,479,660	1,385,794	実質公債費比率	14.6	15.7
	面積 (km <sup>2</sup> )	432.01		22年国調	18,105	20,985	基準財政収入額	10,774,644	10,811,282	将来負担比率	176.9	165.8
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	237	第3次	22年国調	29,612	30,316	基準財政需要額	17,471,306	17,601,531	資金不足比率 ( 4 )	-	-	
世帯数 (世帯)	32,467		17年国調	59.4	55.8	標準税収入額等	13,875,780	13,966,629				
職員状況							経常経費充当一般財源等	22,807,742	22,682,904			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	繰入一般財源等	30,806,961	29,413,449		
	市区町村長	1	9,180	一般職員	873	2,795,346	3,202	地方債現在高	60,494,584	55,125,436		
	副市区町村長	1	7,070	うち消防職員	151	462,815	3,065	うち公的資金	30,858,909	29,583,699		
	教育長	1	5,990	うち技能労務職員	135	428,355	3,173	債務負担行為額(支出予定額)	3,333,430	4,405,768		
	議会議長	1	4,580	教育公務員	7	29,701	4,243	収益事業収入	-	-		
	議会副議長	1	3,970	臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-		
	議会議員	24	3,690	合計	880	2,825,047	3,210	積立金現在高	1,406,037	1,884,456		
				ラสบライレス指数( 6 )	102.8	( 95.0 )		減債基金	457,163	457,163		
								その他特定目的基金	3,378,932	3,319,178		
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法通)の一覧	公営企業(法非通)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧							
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名			( 3 )
(1) 一般会計		(3) 国民健康保険事業特別会計		(6) 水道事業会計		(7) 農業集落排水事業特別会計		(9) 新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合		(19) 三条昭栄開発		
(2) 勤労者福祉共済事業特別会計		(4) 介護保険事業特別会計				(8) 公共下水道事業特別会計		(10) 三条地域水道用水供給企業団		(20) 県央土地開発公社		
		(5) 後期高齢者医療特別会計						(11) 三条・燕・西蒲・南蒲広域看護老人ホーム施設組合		(21) 下田郷開発		
								(12) 新潟県市町村総合事務組合【一般会計】		(22) 燕三条地場産業振興センター		
								(13) 新潟県市町村総合事務組合【職員退職手当支給事業特別会計】				
								(14) 新潟県市町村総合事務組合【消防団員等公務災害補償事業特別会計】				
								(15) 新潟県市町村総合事務組合【消防費しゅつ支支給事業特別会計】				
								(16) 新潟県市町村総合事務組合【非常勤職員公務災害補償等特別会計】				
								(17) 新潟県市町村総合事務組合【交通災害共済事業特別会計】				
								(18) 新潟県後期高齢者医療広域連合【一般会計】				

(注釈) 1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に 印を付与している。  
 4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 6: ラสบライレス指数の( )内の数値は、国家公務員の時限的(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位 千円・%)					地方税の状況(単位 千円・%)					歳出の状況(単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	13,081,523	21.9	12,629,527	56.0	普通税	12,596,243	96.3	165,200	議会費	326,806	0.6	-	326,806	
地方譲与税	426,477	0.7	426,477	1.9	法定普通税	12,596,243	96.3	165,200	総務費	3,912,480	6.8	80,379	3,030,441	
利子割交付金	39,960	0.1	39,960	0.2	市町村民税	5,293,767	40.5	165,200	民生費	13,062,104	22.8	396,071	6,842,456	
配当割交付金	17,288	0.0	17,288	0.1	個人均等割	141,173	1.1	-	衛生費	10,127,504	17.7	7,417,542	3,403,163	
株式等譲渡所得割交付金	4,233	0.0	4,233	0.0	所得割	3,835,193	29.3	-	労働費	417,690	0.7	15,272	56,191	
地方消費税交付金	1,061,513	1.8	1,061,513	4.7	法人均等割	312,290	2.4	-	農林水産業費	985,905	1.7	187,479	841,113	
ゴルフ場利用税交付金	17,905	0.0	17,905	0.1	法人税割	1,005,111	7.7	165,200	商工費	8,305,047	14.5	125,665	586,929	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	6,339,174	48.5	-	土木費	5,398,518	9.4	2,434,731	2,889,997	
自動車取得税交付金	91,935	0.2	91,935	0.4	うち純固定資産税	6,315,319	48.3	-	消防費	1,543,376	2.7	192,383	1,392,981	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	236,751	1.8	-	教育費	5,196,781	9.1	2,601,433	2,811,499	
地方特例交付金	125,814	0.2	125,814	0.6	市町村たばこ税	721,932	5.5	-	災害復旧費	2,621,815	4.6	-	1,070,742	
児童手当及び子ども手当特例交付金	48,686	0.1	48,686	0.2	鉱産税	-	-	-	公債費	5,301,051	9.3	-	5,129,399	
減収補填特例交付金	77,128	0.1	77,128	0.3	特別土地保有税	4,619	0.0	-	諸支出費	356	0.0	-	-	
地方交付税	11,201,864	18.8	7,937,410	35.2	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
普通交付税	7,937,410	13.3	7,937,410	35.2	目的税	485,280	3.7	-	歳出合計	57,199,433	100.0	13,450,955	28,381,717	
特別交付税	1,853,863	3.1	-	-	法定目的税	485,280	3.7	-						
震災復興特別交付税	1,410,591	2.4	-	-	入湯税	33,284	0.3	-						
(一般財源計)	26,068,512	43.7	22,352,062	99.2	事業所税	-	-	-						
交通安全対策特別交付金	22,264	0.0	22,264	0.1	都市計画税	451,996	3.5	-						
分担金・負担金	445,781	0.7	-	-	水利地益税等	-	-	-						
使用料	436,804	0.7	67,250	0.3	法定外目的税	-	-	-						
手数料	385,033	0.6	-	-	旧法による税	-	-	-						
国庫支出金	8,427,225	14.1	-	-	合計	13,081,523	100.0	165,200						
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-										
都道府県支出金	2,929,127	4.9	-	-										
財産収入	42,226	0.1	28,530	0.1										
寄附金	132,439	0.2	-	-										
繰入金	2,090,460	3.5	-	-										
繰越金	710,398	1.2	-	-										
諸収入	8,180,308	13.7	63,580	0.3										
地方債	9,815,500	16.4	-	-										
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-										
うち臨時財政対策債	1,963,900	3.3	-	-										
歳入合計	59,686,077	100.0	22,533,686	100.0										

区分	平成23年度	平成22年度	
徴収率 現・計	合計	98.6 92.7	98.5 92.7
(%) 年	市町村民税	99.0 94.8	99.0 94.8
	純固定資産税	98.1 90.4	98.0 90.4

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	4,376,201	実質収支	-408,234
下水道	1,397,306	再差引収支	-602,924
上水道	236,369	加入世帯数(世帯)	13,985
工業用水道	-	被保険者数(人)	25,218
交通	-	被保険者	77
国民健康保険	567,635	1人当り	91
その他	2,174,891	保険税(料)収入額	253
		国庫支出金	91
		保険給付費	253

区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	20,726,496	36.2	14,887,311	14,714,016	60.1
人件費	8,638,330	15.1	7,511,231	7,372,600	30.1
うち職員給	5,150,009	9.0	4,654,976	-	-
扶助費	6,791,496	11.9	2,251,062	2,237,539	9.1
公債費	5,296,670	9.3	5,125,018	5,103,877	20.8
元利償還金	5,287,483	9.2	5,115,831	5,094,690	20.8
内 うち元金	4,446,352	7.8	4,274,700	4,253,559	17.4
内 うち利子	841,131	1.5	841,131	841,131	3.4
一時借入金利子	9,187	0.0	9,187	9,187	0.0
その他の経費	20,400,167	35.7	10,127,387	8,093,726	33.0
物件費	4,977,265	8.7	3,672,919	3,254,496	13.3
維持補修費	1,231,624	2.2	1,007,458	819,261	3.3
補助費等	1,960,074	3.4	1,586,314	501,717	2.0
うち一部事務組合負担金	235,837	0.4	150,175	107,338	0.4
繰出金	4,139,832	7.2	3,767,456	3,518,252	14.4
積立金	106,062	0.2	-	-	-
投資・出資金・貸付金	7,985,310	14.0	93,240	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	16,072,770	28.1	3,367,019	-	-
うち人件費	192,505	0.3	192,505	-	-
普通建設事業費	13,450,955	23.5	2,296,277	-	-
うち補助	9,942,751	17.4	1,460,658	-	-
うち単独	3,420,494	6.0	832,043	-	-
災害復旧事業費	2,621,815	4.6	1,070,742	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	57,199,433	100.0	28,381,717	-	-

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成23年度 新潟県三糸市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	60,438	57,963	2,475	269	2,157	60,562	
2 勤労者福祉共済事業特別会計	21	9	12	12	1	0	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297				</			

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	103,314	人(H24.3.31現在)	実収赤字比率	-	%
面積	432.01	km <sup>2</sup>	実収赤字比率	-	%
人口密度	59,686,077	千円	実収赤字比率	14.6	%
出生数	57,199,433	千円	将来負担比率	176.9	%
死亡数	206,529	千円			
標準財政規模	23,777,091	千円			
地方債現在高	60,494,584	千円			

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

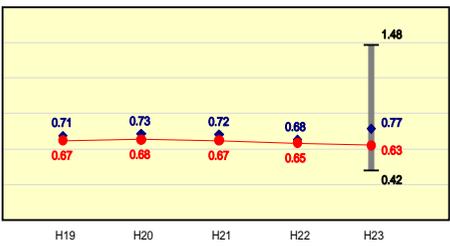
市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
\*人件費・物件費等の状況、の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

#### 財政力

財政力指数 [0.63]

類似団体内順位 63/88 全国平均 0.51 新潟県平均 0.52

**財政力指数の分析**  
新経営戦略プログラムに基づき財政基盤の強化を図ってはいるものの、類似団体平均を大きく下回っており、近年の数値は横ばいで推移してきている。今後も新経営戦略プログラムに掲げる歳出入改革等の対策を着実に実施し、財政の健全化に努めていく。

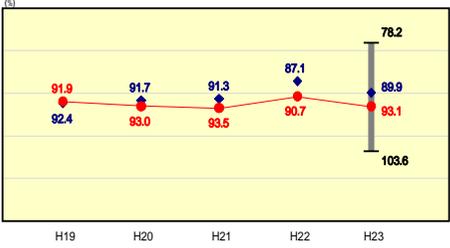


#### 財政構造の弾力性

経常収支比率 [93.1%]

類似団体内順位 64/88 全国平均 90.3 新潟県平均 88.7

**経常収支比率の分析**  
人件費や社会保障関係経費、指定管理者制度の導入による物件費の増加により、類似団体平均を上回っている。今後も新経営戦略プログラムに基づき、人件費の削減や公債費負担の適正化等、これまでの取組を継続し、行政評価などを活用しながら現在取り組んでいる事業の費用対効果や市民ニーズを考慮し、更なる検証を加え経常経費の削減に努める。

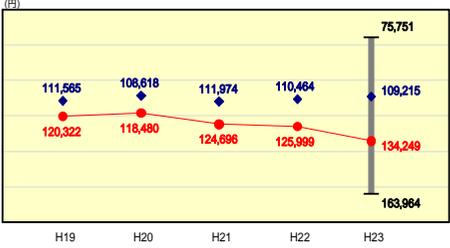


#### 人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [134,249円]

類似団体内順位 81/88 全国平均 119,477 新潟県平均 148,363

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析**  
類似団体平均を上回っており、今後も引き続き定員適正化計画による職員削減の実施、指定管理者制度の導入や公立保育所の民営化などの業務の外部委託化を進め、コストの低減を図っていく。

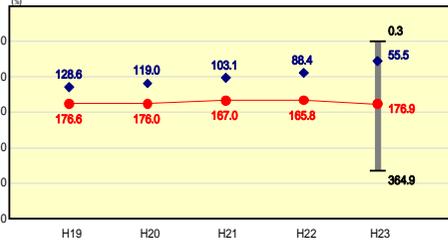


#### 将来負担の状況

将来負担比率 [176.9%]

類似団体内順位 85/88 全国平均 69.2 新潟県平均 113.0

**将来負担比率の分析**  
類似団体平均を上回っており、職員数の削減による退職手当の減という減少要因はあるものの、今後も新市建設計画登載事業の進捗などによる借入れの増加が見込まれることから、負担の増加が予想される。新経営戦略プログラムや公債費負担適正化計画に基づき、事業の見直しなどにより、起債発行額を抑制する。

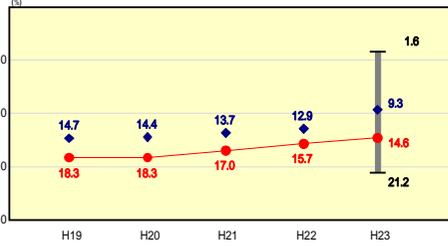


#### 公債費負担の状況

実質公債費比率 [14.6%]

類似団体内順位 78/88 全国平均 9.9 新潟県平均 13.6

**実質公債費比率の分析**  
実質公債費比率の数値は改善してきているものの、下水道事業の公債費充当財源繰出金が多額になることや市町村合併に伴い一部事務組合債を承継したことから、類似団体平均より高い14.6%となっている。今後は経営戦略プログラムや公債費負担適正化計画に基づいて、新市建設計画登載事業の見直しや下水道事業の公債費充当財源繰出金の抑制などにより、公債費の抑制を図る。

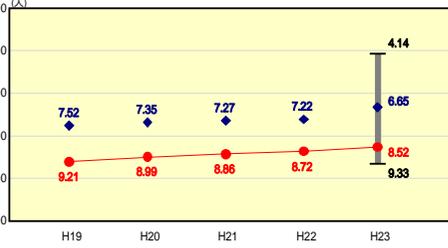


#### 定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [8.52人]

類似団体内順位 81/88 全国平均 7.17 新潟県平均 8.69

**人口千人当たり職員数の分析**  
類似団体平均を上回っているものの、定員適正化計画を策定し将来の職員構成や財政状況を考慮した必要最小限の職員採用を行っており、平成23年度は対前年度比で0.20ポイントの減となった。今後も業務の効率化を図るなど、引き続き職員数の削減に努める。

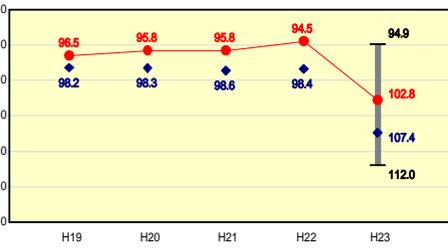


#### 給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [102.8]

類似団体内順位 6/88 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3

**ラスパイレス指数の分析**  
類似団体平均を下回っている。今後も昇級・昇格制度の適切な運用などにより引き続き給与の適正化に努める。



# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

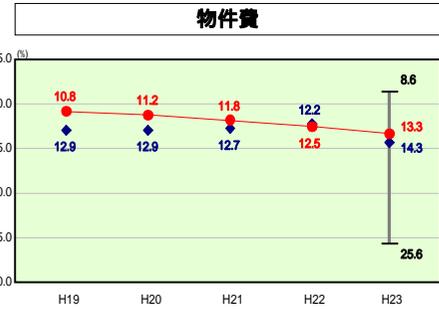
新潟県三条市

## 経常収支比率の分析

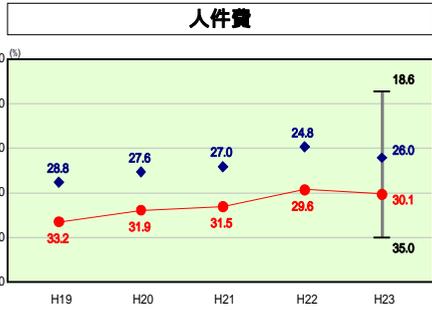
人口	103,314	人(H24.3.31現在)					
面積	432.01	km <sup>2</sup>					
入出	59,686,077	千円	実	赤	赤	比	
歳入	57,199,433	千円	通	結	字	率	
歳支	206,529	千円	算	算	比	%	
標準	23,777,091	千円	特	公	率	14.6	
地方	60,494,584	千円	市	債	%	176.9	
			(	年	度	毎	
			型	H19	- 1	H20	- 1
				H22	- 1	H23	- 1



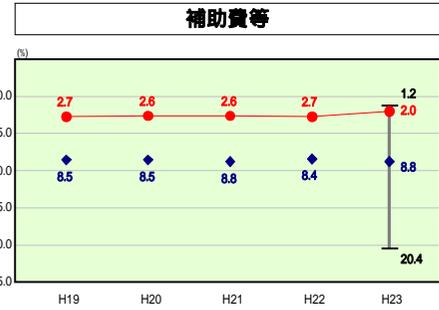
市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



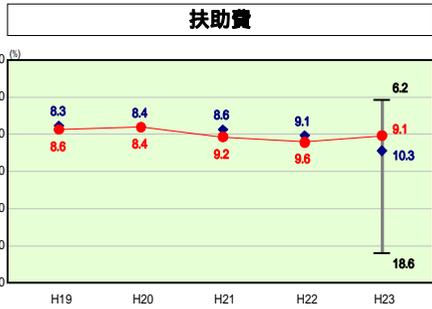
**物件費の分析**  
物件費は前年比較で、0.8%上昇した。原因としては指定管理者制度の導入などによる指定管理料の増加などがある。引き続き、指定管理者への業務委託事業を進めつつ、「業務の改善・効率化」により業務の無駄を排除し物件費の抑制に努める。



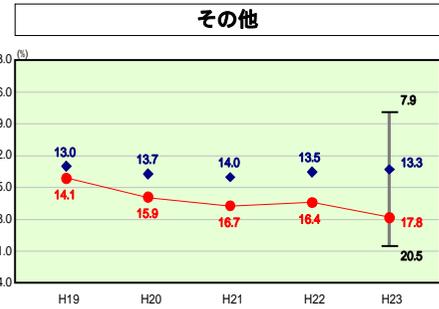
**人件費の分析**  
人件費は前年比較で0.5%増となっている。定員適正化計画による職員数の削減は図られているものの、一方で団塊世代の職員の退職時期を迎え、今後退職手当が多額に上ることが予想される。退職手当により負担を平準化し、今後も引き続き、比率の抑制を図っていく。



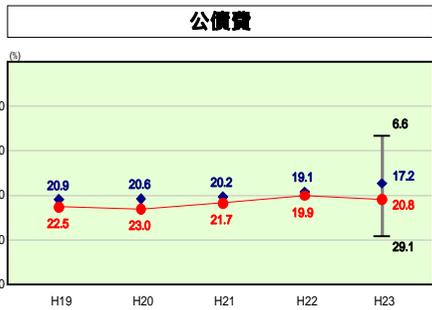
**補助費等の分析**  
補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均を大きく下回っているのは、平成17年5月1日の市町村合併に伴う一部事務組合の解散により、一部事務組合に対する負担金が大きく減少したためである。今後も、補助費等の支出にあたっては、対象事業の実施内容、効果等の検証を行うとともに、必要な見直しを行うなど、適正な執行に努める。



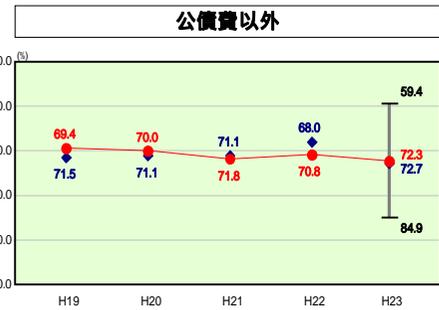
**扶助費の分析**  
決算額では前年度より増加したものの、経常収支比率では前年度より0.5%減少し、類似団体を下回った。今後も、障がい者自立支援給付費や生活保護費など執行の適正化等による抑制に努める。



**その他の分析**  
その他に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、繰出金の増加が主な要因である。今後、下水道事業経営健全化計画に基づく使用料収入等の確保・事業費の節減等により適正化を図り、普通会計の負担額を減らして行くよう努める。



**公債費の分析**  
市町村合併に伴い一部事務組債を承継したことなどから、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を上回っている。新経営戦略プログラムや公債費負担適正化計画に基づき、新市建設計画登載事業を見直すなど、起債発行額を抑制した結果、改善の傾向が見られているが、今後は合併特例債の償還等により比率が増加していくことが考えられる。



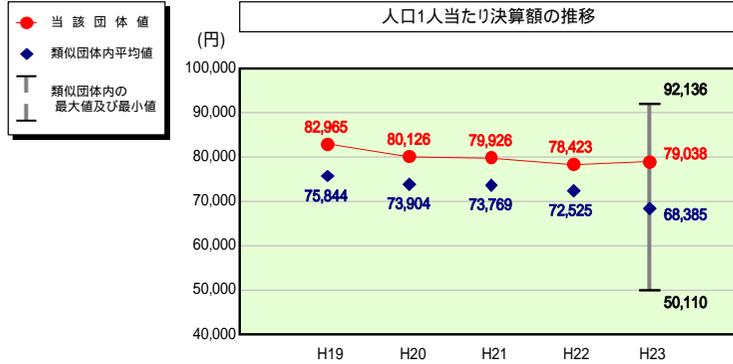
**公債費以外の分析**  
人件費や物件費、扶助費の増加などがあり、1.5%上昇した。今後も引き続き、事業の優先度や必要性、費用対効果等を勘案しながら、事業費の抑制などに努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

新潟県三条市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



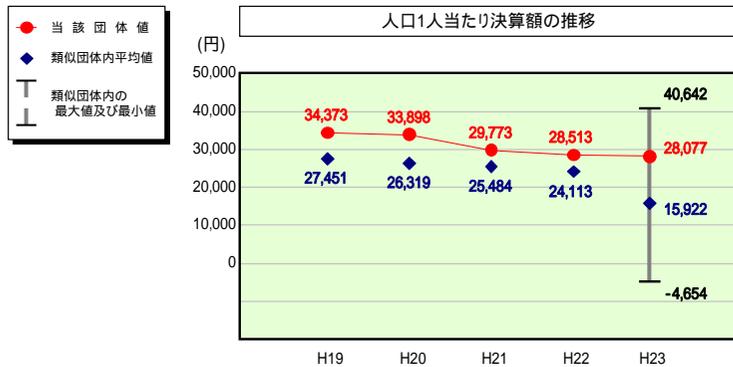
## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	8,638,330	83,612	63,942	30.8
賃金(物件費)	218,681	2,117	4,001	47.1
一部事務組合負担金(補助費等)	94,451	914	3,674	75.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	626	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	191,678	1,855	2,645	29.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	192,505	1,863	1,278	45.8
退職金	1,169,960	11,324	7,786	45.4
合計	8,165,685	79,038	68,385	15.6

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.52	6.65	1.87
ラスパイレース指数	102.8	107.4	4.6

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

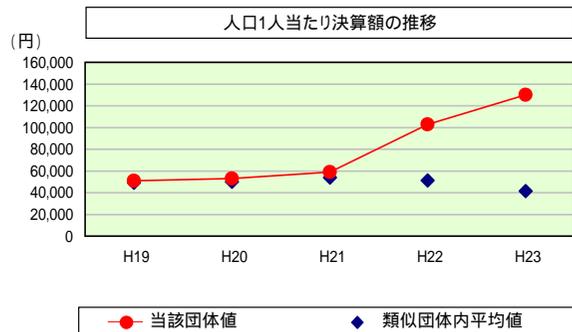


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	5,010,637	48,499	39,398	23.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	133,333	1,291	43	2,902.3
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,260,399	12,200	10,205	19.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	110,169	1,066	1,979	46.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	244,590	2,367	1,167	102.8
一時借入金利息 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	6,826	66	8	725.0
特定財源の額	478,640	4,633	7,533	38.5
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	3,386,608	32,780	29,346	11.7
合計	2,900,706	28,077	15,922	76.3

平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

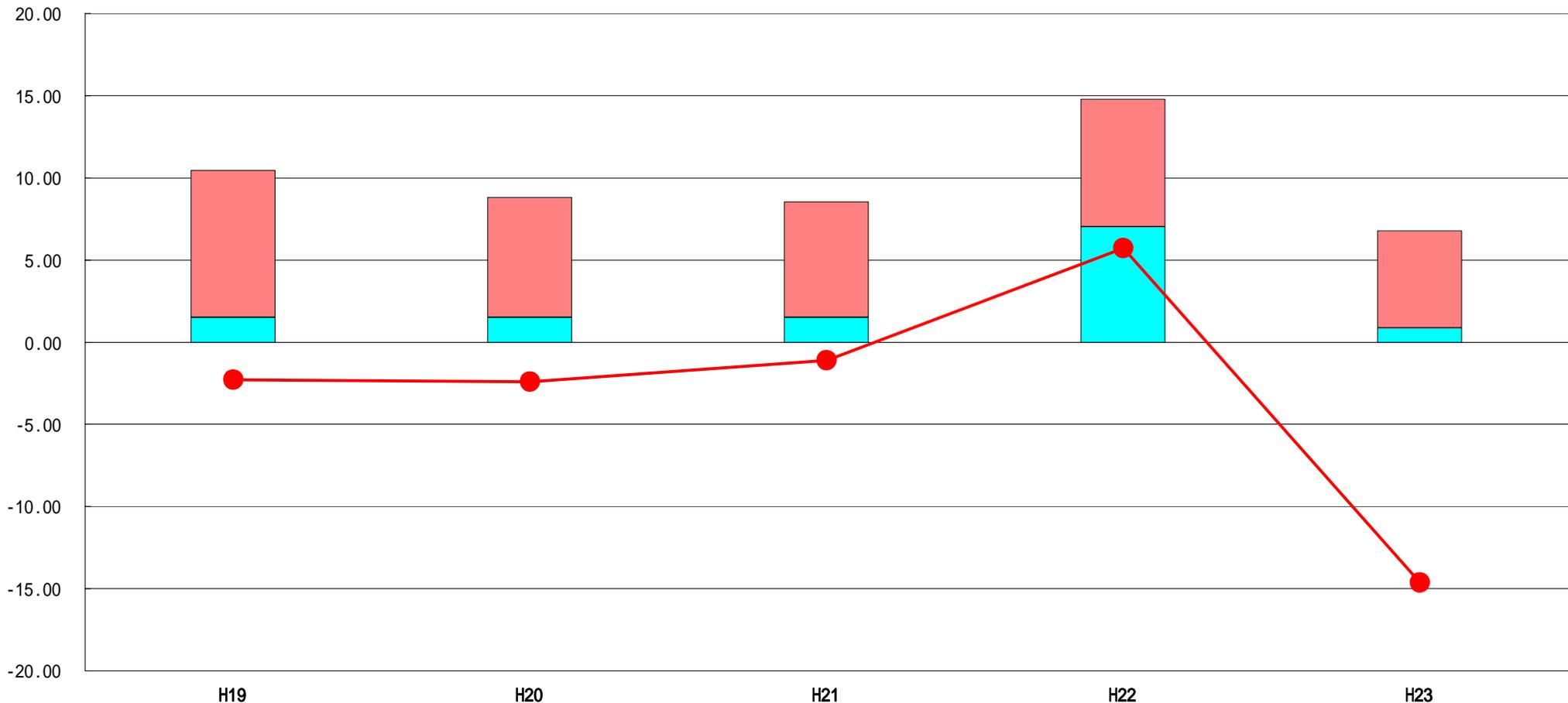
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	5,396,517	50,886	5.6	49,332	5.7	0.1
うち単独分	3,926,123	37,021	13.3	29,329	11.9	1.4
H20	5,596,395	53,083	4.3	50,068	1.5	2.8
うち単独分	4,624,208	43,862	18.5	30,080	2.6	15.9
H21	6,189,297	59,015	11.2	53,925	7.7	3.5
うち単独分	4,655,686	44,392	1.2	34,260	13.9	12.7
H22	10,717,624	102,920	74.4	51,263	4.9	79.3
うち単独分	6,158,609	59,141	33.2	29,061	15.2	48.4
H23	13,450,955	130,195	26.5	41,433	19.2	45.7
うち単独分	3,420,494	33,108	44.0	22,351	23.1	20.9
過去5年間平均	8,270,158	79,220	22.2	49,204	4.1	26.3
うち単独分	4,557,024	43,505	0.9	29,016	6.7	5.8

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成23年度

新潟県三条市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		8.94	7.30	7.05	7.76	5.91
 実質収支額		1.50	1.51	1.50	7.03	0.87
 実質単年度収支		2.30	2.42	1.12	5.71	14.63

### 分析欄

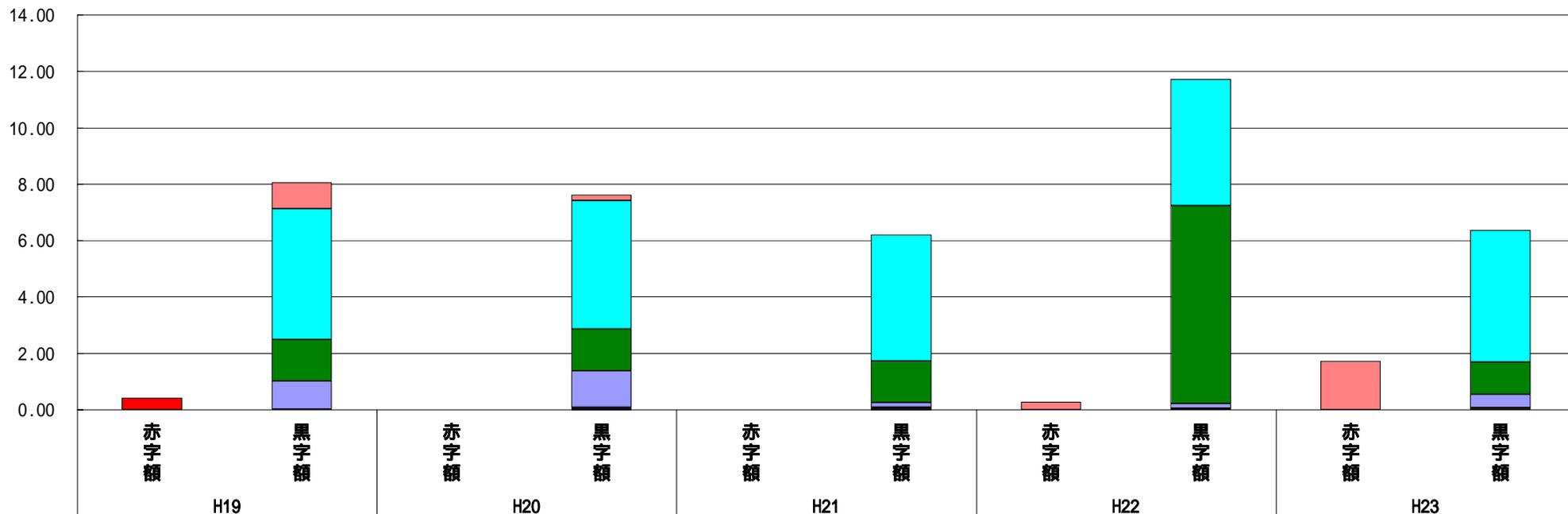
23年度に発生した災害を起因として、財政調整基金の大幅な取崩しを行った結果、実質収支額の比率が大きく落ち込み、実質単年度収支も再びマイナスに転じた。新経営戦略プログラムに掲げる歳出入改革等の対策を着実に実施し、財政の健全化に努めていく。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成23年度

新潟県三条市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
国民健康保険事業特別会計		0.94	0.20	0.00	0.28	1.72
水道事業会計		4.63	4.55	4.49	4.48	4.69
一般会計		1.48	1.49	1.47	7.02	1.13
介護保険事業特別会計		0.99	1.28	0.16	0.16	0.48
勤労者福祉共済事業特別会計		0.02	0.03	0.04	0.04	0.05
後期高齢者医療特別会計		-	0.02	0.01	0.01	0.02
農業集落排水事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公共下水道事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		0.42	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		-	0.04	0.04	0.00	-

## 分析欄

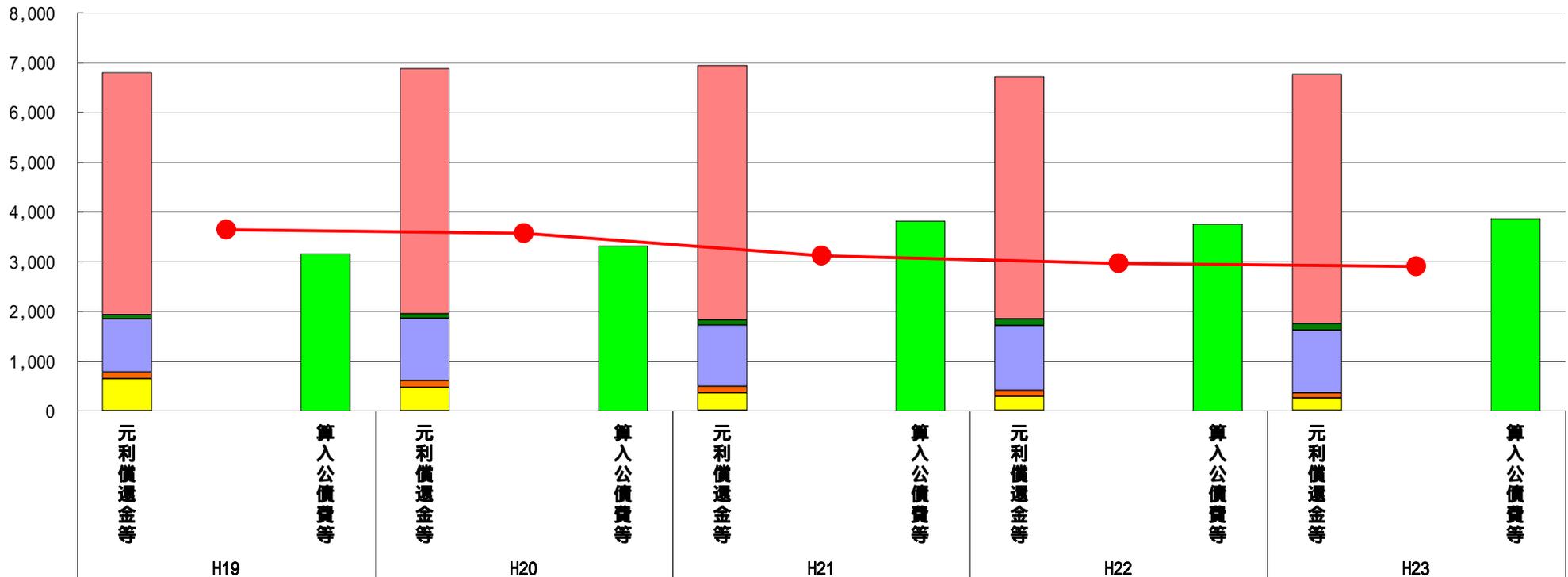
23年度に発生した災害を起因として、災害復旧費及びそれに伴う経費が増加したことから、一般会計決算の黒字額が大幅に減少した。また、国民健康保険事業会計決算の赤字額がさらに拡大した。災害復旧を進めながら、税収の確保等により財政運営の健全化に努めていく。

# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

新潟県三条市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等(A)	元利償還金		4,871	4,935	5,113	4,881	5,011
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		87	97	107	133	133
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,061	1,250	1,231	1,300	1,260
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		138	137	130	118	110
	債務負担行為に基づく支出額		643	467	353	277	245
	一時借入金の利子		0	0	7	14	7
算入公債費等(B)	算入公債費等		3,154	3,312	3,818	3,754	3,866
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		3,646	3,574	3,123	2,969	2,900

**分析欄**

22年度は公債費負担適正化計画に沿って改善を行ったが、23年度からは、新市建設計画の進捗により、ごみ焼却処理施設建設事業やし尿処理施設建設事業など合併特例債の償還が始まり公債費が増加した。今後は、災害復旧事業に充当する市債発行による元利償還金の対応も含めて、実質公債費比率の推移に注視しつつ対応していく必要がある。

平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

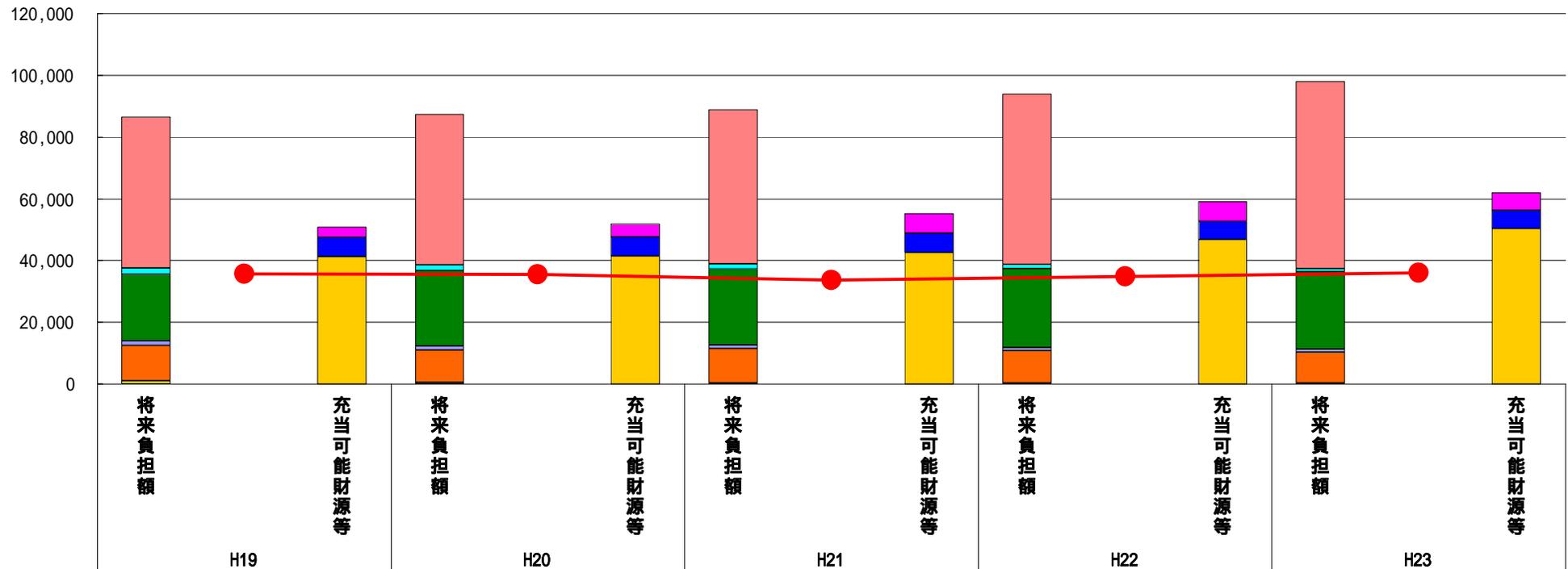
平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

（百万円）

平成23年度

新潟県三条市



（百万円）

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		48,959	48,809	50,046	55,192	60,562
	債務負担行為に基づく支出予定額		2,015	1,847	1,584	1,342	1,111
	公営企業債等繰入見込額		21,567	24,488	24,580	25,591	25,002
	組合等負担等見込額		1,538	1,342	1,147	967	950
	退職手当負担見込額		11,456	10,494	11,096	10,443	10,061
	設立法人等の負債額等負担見込額		1,030	443	418	320	284
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,476	4,305	6,441	6,307	5,687
	充当可能特定歳入		6,099	6,208	6,101	5,920	5,926
	基準財政需要額算入見込額		41,280	41,367	42,662	46,766	50,269
(A) - (B)	将来負担比率の分子		35,712	35,541	33,667	34,862	36,088

## 分析欄

地方債の現在高の増加は、新市建設計画登載事業の実施に伴う借入れが続いていることが主な原因となっている。また、公共下水道事業に係る償還元金残高の増加などにより、公営企業債等の繰入見込額が増加してきている。将来負担額の増加は今後も予想されるが、新経営戦略プログラムや公債費負担適正化計画に基づき、新市建設計画登載事業の見直しなどにより、起債発行額を抑制していく。

平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。